



增 補

廣類願體俚諺鈔

前集  
序目錄

文學  
16  
42

9  
3443  
1

廣瀨願體俚諺鈔



3443  
1

9  
3443  
1-7

毛利貞齋先生譯

千金寶

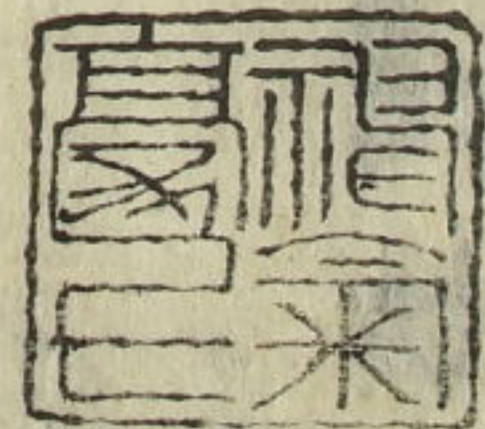
浪速 松根堂發行

408

宜興蔣東山錄

新安汪虞輯鑒定

增補願體  
廣類集



本衙藏板

原序

宗子鶴問過予署齋手出  
一編曰此史摺臣所梓願  
體集也蓋不獨書之座右  
而孜孜於躬行實踐之未  
逮且欲與人共為持循而

相勉於寡過者也予取讀  
之其所錄皆明白坦易不  
出日用飲食之常愚不肖  
者無不可爲與不能爲而  
高明才智之士亦卒莫踰  
其町畦闕闕之外誠有合

乎聖賢之旨夫六經四子  
之書爲教備矣其一言一  
字有終身行之而不能至  
者顧童而習之耄而忘之  
口耳誦說以爲功而求其  
身體力行者茫然未有反

不如尋常淺近之言有足  
以警省匹夫匹婦之爲得  
何以故日月至明也而入  
於昏室之中或不如燈燭  
之耀梁粟至味也而當夫  
屬饜之後或不如樽飪之

美今六經四子之書日月  
梁粟也而稽臣之所錄燈  
燭也樽飪也稽闡途而飽  
果腹爭趨其光而競染其  
指矣子輿氏論天下國家  
本身之理而由恒言以引

伸之是書無一非格言而  
 無一非格言果人奉為著  
 鑑躬行實踐自勉勉人而  
 相率以循於為善之途則  
 可使習俗返澆而醇挽薄  
 而厚又何俟在位者講諭

讀法之教哉予故樂序而  
 傳之

崑

康熙丁巳季秋整飭江南  
 江蘇松常鎮淮揚七府徐

州一州驛傳鹽法道按察使司副使加八級山陰金鎮書



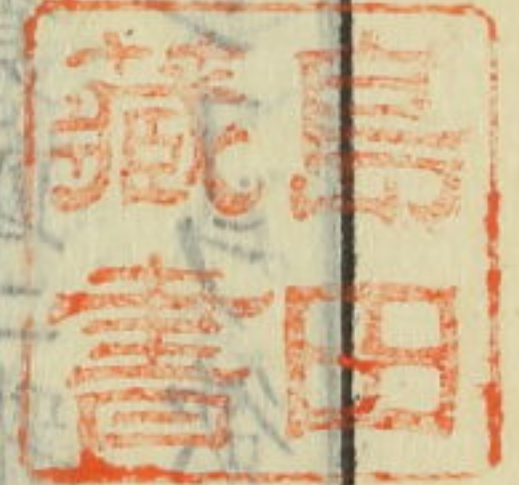
廣雅集新編卷之四

增補廣類願體俚諺鈔目錄

第一 總論 初葉

第二 父子章 初葉

十九段事



○母ノ恩ハ可見シテ父ノ恩ハ不可見事

○父母ノ慈ハ子ノ身心ヲ保フ事

○父子兄弟ハ人倫自然ノ道ノ事

○事親者ハ歡ヲ承シ肝要トスベキ事

附 孔子ノ門人子路兩親ニ孝養ヲ勉シ事

○凡子弟タル者名守ヲ付ニ忌コアリ

附 我朝ニテモ同例

○繼嗣トテ我カ子ナキ人ハ他ノ子ヲ養フ事

- 父母ノ子ヲ愛スルニ及テ害ヲ招クアル事
- 少年ノ子弟ハ一業ヲ授ケ習シムベキ事
- 子タル者ハ醫道ヲ知スニハ有ベカラサル事
- 父ハ嚴母ハ慈ナルモ中道ヲ用ヘキ事
- 孩童ノ愚蒙ヲ開ント欲ハ宜ク徐々ト教導ベキ事
- 分析トテ家ノ財寶ヲ分與ル事
- 妾子ヲ産テ後追去不仁ノ事
- 男子女子共ニ婚禮太早ハ不立事
- 今人女子ハ外ニ往トテ教カル誤ノ事
- 子ヲ生テ後乳母ヲ覓並ニ乳母ヲ待遇ノ事
- 子ヲ生テ多壽ナランコトヲ欲スル事

第二 兄弟章

五段

- 養子シテ後實子生ルレバ多ハ違變ノ過失アル事
  - 孝行ヲ第一トス母懷妊ノ苦勞等ノ事
  - 兄弟ノ間不意ニ隔ヲ致ス事
  - 家人離散スルハ多婦人ノ惡ニ由等ノ事
  - 兄弟ノ和睦ハ勸忍ニアル事
  - 兄弟和睦セサル時ハ子姪愛サル事
  - 諺曰兄弟ハ手足ノ如ク等ノ事
- 第四 夫婦章 婚姻同 十一段
- 婚姻ヲ取結テ後口舌ヲ惹出ス事
  - 父ハ子ヲ教訓セント思ヘ尼母ハ過ヲ蔽隠ス事



○妻賢ト云カコシ外面ノ事ヲ治ツカサシムル時ハ誤アアル等ノ事

○女ヲ待ヒシ人ハ必ス婚コノ人品ヲ擇セテ第一トスベキ事

○媳ヨメヲ求ルニ先ツ粧ケ奩イ杯ハノ多少ヲ論ハスル誤ノ事

○嫉ヒ婚コスル婦ニ兩種アル事

○妻有大小子無ク嫡庶ト云論

○古ハ合カフ婚コンノ説ナシ唐朝ニ至テ此説ヲ立ル事

○新娘ニヨメ新郎ニヨメ初ハジメテ雲雨ヲ行時血アルヲ全璧ト云血

ナキヲ瑕キズニ疵キズアリト云誤ノ事

○妻ノ出生ノ微賤ナルヲ語ベカラサル事

○夫四十歳ニ無子時ハ妾メカヲ娶メベキ論

○卷之二

第一 朋友章

交與同

九段

○交カ事コトノ意ニ命ノチト難ガキ事

○盟イカヒヲ結ムステ交カリシ幾モ經ヘガルニ盟ヒニ節セク事

○朱シユニ近チカハ赤アカク友トモハ擇セテ交カルベキ事

○小人コノヒト佞ネイ人ヒトヲバ遠トホベキ事

○必カナラタル友ヲ念オモカ如ク生イキタル友ヲ念オモベキ事

○友ニ交カルハ大オホ廣ヒロケレバ害ガイアル事

○交カフハ慎シムバ徳トクヲ成ナス事

○先サキニ貧賤ニシテ後ノチ富貴ナル者ヲ友トスル等ノ事

○五倫ノ中ニ於ケテ最モ難ガ處ト者ハ朋友ナル等ノ事

第二

親族章

七段

- 貧窮ノ親類ハ。憐憫ヲ垂テ養フベキ事
- 親友我ヲ頼コカラバ。カノ叶ヘキコハ。不可辞事
- 親戚舊友。窘ニアラバ。惠ヲ加ベキ事
- 小嫌ヲ以テ。骨肉ヲ踈ズルコトノキ事
- 親族近隣舊友故人。一旦相争者アル事
- 今人富貴ノ親類ヲ尊。貧賤ノ親類ヲ卑ル事
- 親族ハ睦カラズンバ。有ベカラサル事

第三

立心章

二十段

- 書ヲ讀。聖賢ノ教ヲ曉シ。分ヲ安ズヘキ事
- 常ニ小快カラサル事アルハ。後必快事至ル事
- 克己ノ二字ハ。酒ヲ醒ス的中ノ方

- 人ノ善ヲ聞テハ。疑ヒ。人ノ惡ヲ聞テハ。信スル事
- 己ガ耳目ヲ他人ノ爲ニ用ラル事
- 貧富ノ一ツ意ニ念ベキ事
- 一念ノ善ニハ。吉神隨之等ノ事
- 先ニ私心ヲ去テ。而後ニ公事ヲ治ベキ事
- 人毎ニ臨終ノ時。他日子孫ノ貧苦ヲ憂ル事
- 家道中ニ衰微スルハ。心術端カラサルニ中事
- 本然ノ良心不昧コトノ事
- 變ニ逢テ。倉皇サレバ。明ナル處置出來事
- 好惡ノ行ニ依テ。天堂ト。地獄トアル事
- 心偏頗ナラザレバ。能萬全ノ術ヲ獲事

○人トシテハ我ニ在四字ヲ盡スベキ事

○人ヲ害スル心不可有事

○書ヲ看テハ理ヲ求必胸中ニ點頭スベキ事

○他人ノ財ヲ思ベカラサル事

○天地ハ万物ヲ生ズルヲ心トスル事

○五倫ハ人ノ最尊最親タルノ論

第四 立身章

三十四段

○揖讓周旋ハ是威儀ノ文ノ論

○平居私慾寡カルベキ事

○人物ニ應接スルニ胸中分曉アラシクテ欲スル事

○我ヲ輕セラル、待遇ノ事

○思慮太深時ハ謀ヲ傷事

○禮義ノ怒ハ不可無事

○凡人ニ望テ有ハ已カ施シ所ヲ思フベキ事

○不知ノ人ニ交サレバ禍ナキ事

○他人ニ勝ラシクテ欲スレバ反テ劣ル事

○凡己不足ノ者ハ事ヲ多スル事

○儘前ニ行者ハ地歩穿事

○山金ヲ生ジテ反テ自ラ鑿ル、等ノ事

○巧人和ヲ得ル、モ多、禍ヲ得ル、モ亦多、等ノ事

○嗜慾ヲ斬斷シ、怒氣ヲ按納スル事

○他人我言爲ヲ聞知スル、トテ欲セサル事

- 失志人ニ對シテ。得志事ヲ。談セサル等ノ事
- 天理ヲ體認スル事
- 心ニ善ヲ好バ。己カ避クヲ尋ベキ事
- 禮義廉恥ハ。以テ己ヲ律スヘキ事
- 天命ヲ安ジ。人事ヲ盡スノ説
- 萬事古本ヲ正シク傳ベキ事
- 身ヲ立ルハ。書ヲ讀ヨリ起ル事
- 人ニ替テ。事ヲ想事
- 靜坐シテ。然後ニ平日ノ氣浮ルヲ知ル事
- 富貴ノ家ヲ有ッ人ハ。宜ク學寬ルベキ等ノ事
- 世人只人ノ心ハ。料リ難シト云誤ノ事

○君子ハ青天平地ヲ恐懼スル事

○體面ヲ獲ハ。廉耻ヲ重スルニ如カル等ノ事

○天ニ順フ者ハ。存スル等ノ事

○危地ノ遊覽ハ。爲ベカラサル事

○凡心動トキハ。必禍多キ事

○吾身上ヨリ疾ヲ却ルノ法

○間暇ヲ精勤ヨリ出セ等ノ事

第五 學問章 十二段

○學胸中ニ滿トキハ。言シ吐ニ自蘊藉アル等ノ事

○讀未見書恰如得良友等ノ事

○意ニ不解處アツテ。知者ニ問ガル誤ノ事

- 人生處トシテ磨礪セズンバアルベカラサル等ノ事
- 經書ノ小註安ニ刪削スベカラサル事
- 人ノ心ハ收メ難ク放チ易キ等ノ事
- 書ヲ讀サレバ耻辱ヲ招ク等ノ事
- 看書如看戲スベキ事
- 會做文章者從題目裏做出等ノ事
- 讀書ノ人ハ修名ノ心ヲ存スベキ事
- 平時將身心性命之源流看透ベキ等ノ事
- 詩書多讀バ識見自生ス

○卷之三

第一 品行章

十一段

- 禾稼頼乎秋成。人品重乎晚節事
- 爲善人其德ニ服スル事
- 太人ノ門ニ遊。諂フ固ヨリ耻ベキ等ノ事
- 胸中著スルニ依テ種々害アル事
- 不重威儀者辱ヲ取等ノ事
- 自侮然後人侮之ノ事
- 人若一味ニ老實ナル時ハ諸人ニ信ゼラル等ノ事
- 人ハ心ト口ト相應スルヲ貴トスル事
- 出入時アル時ハ心性不蕩等ノ事
- 欲儉精金玉的人品事
- 凡人ハ人品ヲ重トスル事

第二

十一段

- 三姑六婆勿令入明ノ事
- 富貴如傳舍事
- 凡人一生順逆ノ境ヲ知者少ナル事
- 早起スル家ハ夜飲セサルヲ可知事
- 家ニ美ナル男女ナキ者ハ也念テ防ヘキ事
- 一樂アレバ一哀アル事
- 主人ハ一家ノ觀瞻タル事
- 凡人無不好富貴ノ論
- 男女不襍坐等ノ事
- 子弟不得自打僮僕等ノ事

○婦人聚會少ナレバ是非ノ起ベキ事ナキ事

第三

閨門章

七段

- 男女ノ交ニ戒アル事
- 婦人ハ意ヲ加ヘテ初ヨリ敬ベキ事アル事
- 婦女ニハ戲文ヲ看時行歌ノ聽シムベカラサル事
- 婦人産後旬日之内内帷靜坐等ノ事
- 十ニ歳已上ノ小童不可入戸内等ノ事
- 閨闈ノ内不出戲言事
- 婦女家庭ニ於テ教アル事

第四

居家章

五段

○諺云居郷柴米賤後代子孫愚ナリト云誤ノ事

○世人ノ習俗不察者多事

○人家ノ門戸每晚重々下鎖ニ過アル事

○嘗聞魔魅詛咒之説多番匠瓦師ニ由事

○潘詞艶語ヲ書タル書ヲ家ニ蓄ベカラサル事

第五 田宅章

○他ノ田地居宅皆已カ物ニ有ント求ル事

○住宅ニ樹木ヲ栽ル事

○數十個處ニ田地ヲ買求ル誤ノ事

○隣家隣田ヲ我物ニセント安ニ謀ヲナス誤ノ事

○田地ハ甚窄家ハ甚廣誤ノ事

卷之四

第一 訓後章

八段

○子弟世事ヲ以テ讀書ヲ妨サルベキ事

○婦女ハ必文字ヲ識シメサル事

○不讀書トモ不可近小人事

○至極ノ歡樂ハ無如讀書事

○世間萬般下品ト云事

○渡世將就ナレバ驕ヲ極ル過ノ事

○今時ノ人專不義ノ財不實ノ財ヲ求ル誤ノ事

○子弟幼時不可不讀書事

第二 行藏章

三十九段

○天ニ順ト天ニ逆トノ事

- 得失ハ定數アル事
- 學問ハ時ニ隨テ進ム事
- 人ノ見サル所ヲ作ラシテ事トスル事
- 好利ハ富ヲ求ル所以ニアラサル等ノ事
- 戲文ノ場男女混雜シテ見ル事
- 人ニ邀テ不過敬バ人ノ慢ヲ受ズ等ノ事
- 施恩求報勞必仇ヲナス等ノ事
- 聰明生質アツテモ書ヲ讀太切ヲ建カル等ノ事
- 貧賤ノ時ト富貴ノ時トノ心持ノ事
- 至極逆境ノサカイニ致サレバ安逸ヲ不知等ノ事
- 小人ニ遠レバ忽心開豁スル事

- 一たび出テ人ノ厄難ヲ救等ノ事
- 夜行シテ他人ニ奸曲ナキヲ察ル等ノ事
- 慾ヲ除ク戒ノ喻ノ事
- 名利ヲ爭者ハ先自己ノ分量ヲ審ニスベキ等ノ事
- 行道ノ旅客大道ハ迂ナリトスル過等ノ事
- 人ノ私語ヲ聞等ノ事
- 智者ハ與ニ命ノ闘セサル等ノ事
- 人ノ輕揚ヲ好者ハ心中徳ナキ等ノ事
- 男子ノ志ハ四方ニ在事
- 富貴ノ門ニハ少ニ往ベキ事
- 少年ニノ聰明太露人等ノ事



- 逆境ニ遇トキハ。心ヲ安靜ニスベキ等ノ事
- 中年以下ハ。書置ヲ修ベキ事
- 外ニ出ニ毎々。器械ヲ帶シテ。身ヲ防等ノ事
- 諸人共ニ刻々。畏懼ノ心ヲ懷ヘキ事
- 武藝習古ノ場ヘハ。無事安ニ不可出入事
- 平生清潔ヲ愛スルモ。亦風雅ノ癖アル事
- 城下ヲ過ル時。城ヲ指トナカレノ事
- 出門人ノ性命ハ。風波ト共ニスル等ノ事
- 年老テ家ニ病等ノ事
- 欲報怨心アリテ。人ニ知シムル等ノ事
- 事々元氣ヲ培スル等ノ事

第三

聽言章

十三段

- 神氣ヲ壯ニスル時ノ事
- 凡靜ナル時ハ。禍少等ノ事
- 平時不慮ノ難ヲ防事
- 富貴ノ人家。寬仁ニ從ベキ事
- 執拗者ハ。福輕キ等ノ事
- 言ヲ聽トキハ。當ニ理ヲ以テ。察スベキ事
- 言ニ。二ノ聽ベカラサル事
- 意ニ順テ。言者ハ。小人ナル事
- 言ヲ以テ。人ヲ彈射スル者アル事
- 言ヲ聽テ。即人ノ過失ヲ知ルベキ事

○富貴ノ人僕隸ノ言ヲ不可信事

○僕輩搬弄是非骨肉ノ和氣ヲ傷事

○他人責我以過當虛心體察事

○有人告我曰某誘汝事

○輕諾者必寡信事

○老成之人言近迂闊等ノ事

○他人我好所ヲ校ノ誘引スル事

○諂諛ノ言ハ耳ニ入り易等ノ事

第四 慎言章

二十三段

○好説人陰謀事及聞門醜惡者必遭奇禍事

○少年ノ人收斂ノ語ヲ作等ノ事

○異端ノ説ヲ以テ郷人ヲ誑者ヲモ不斥其非事

○人ノ詐ヲ知テ必此人ヲ叱サレト云事

○凡宴會ニ賓客坐シ列子雜時ノ事

○以言譏人此學者之太病取禍之太端ナル事

○隱惡揚善待他人且然ノ事

○事上ニハ言約ナルヲ貴等ノ事

○我有冤苦他人問及等ノ事

○言動文雅須要自然事

○親友中有顯貴者時ノ事

○他人ノ長短ヲ論ズル事

○無官者終身不知臨民之難等ノ事

○人當厚密時不可盡以秘密事語之事

○凡人正々人ヲ議論シ諫言スベキ事

附 緩ニ諫言スレハ羞テ改シ例

○言方便ノ諫言ニ依テ惡人忽善人トナレル事

○向人說貧人必不信事

○乘醉乘興往々失言戒ノ事

○戲而不謔ト云事

○心有テ謊ヲ云等ノ事

○人ヲ尋訪テ物語スル次第ノ事

○交接宴會ノ間人品不齊等ノ事

○戲謔ハ才知アル人モ免ガル等ノ事

○官人ニ對シ朋友ニ對シテ物語スル事

○卷之五

第一 居處章

二十二段

○賓客來テ久逗留スレ止心思二代ベキ等ノ事

○利名ノ二ツハ猶水火事

○恃勢凌人恃智愚人者猶登山山ノ事

○進一歩想有此而少彼等ノ事

○受人凌辱畏其勢勘忍スル等ノ事

○凡親友物ヲ借ハ吝ベカラサル事

○五穀ヲ草芥ノ如セル報ノ事

○人家ノ隆盛手ヲ反カ如キ事

- 秤半ノ類今人兩様ヲ用ル事
- 無事常知有事提防スベキ事
- 要知賢母子ノ衣服ヲ看等ノ喻事
- 天下ニ生涯ヲ謀ノ術甚多等ノ事
- 人生多一事即有一事之累事
- 古董玩物ヲ好者ハ貧窮ノ基タル事
- 酒色財氣ノ四ハ人情難免事
- 失物或ハ物ヲ落セル人ノ事
- 樓下ニ於テ佛神ヲ供養スベカラサル等ノ事
- 有錢人十分鄙吝ナルヲ得サレト云事
- 弟兄財ヲ争等ノ事

- 辨得時々可歎等ノ事
- 人必須使我哀等ノ事
- 無錢而善生不佞人等ノ事
- 門内孚聞嬉笑怒罵其家範可知等ノ事

第二

讀書章

四段

- 讀書ハ正以明理爲本也ノ事
- 人之讀書不貴於多而貴於不可間斷ノ事
- 語云開卷有益トノ事
- 讀書ト積善トハ乃功名ノ本源タル事

第三

處世章

二十一 段

- 小人ヲ待防事

- 年高而無德人ニ親ク交ルベカラサル等ノ事
- 間事間話ヲ略スル事
- 見人佞不義事須勸止之事
- 水至清則無魚ノ事
- 德業常看人勝於我者則愧耻自増ノ事
- 凡權勢アル人ハ類人ヲ欺ノ事
- 見人有得意事見人有失意事等ノ事
- 人ト相争バ惡事ヲ云出シ羞辱ルナカレノ事
- 凡人亂ニ人ノ是非ヲ不可說事
- 凡人ヲ禍スベキ事ヲ聞ハ口ヲ閉ヘキ事
- 老者不以筋骨爲禮等ノ事

- 人之善惡止宜存於心事
- 事無大小以理爲主ベキ等ノ事
- 尚氣好勝者雖人之常情但不可争小利而忘大義等ノ事
- 人ト交ニハ昵シ以テ貴トスル等ノ事
- 俗曰破人生意如殺人父母此言誠是ノ事
- 世人多詳於大而略於小等ノ事
- 人非聖賢孰能無過等ノ事
- 人若能徃事ノ非前言ノ失ヲ悔ル等ノ事
- 君子ハ人ヲ險ニ迫サル等ノ事

第一

祭祀章

十五段

- 凶人祭祀吉神不饗等ノ事
- 各處風俗雖有不同敬神則無二理等ノ事
- 清明祭掃歲一舉行此乃蒸嘗之鉅典也ノ事
- 先祖ノ祭士庶人ハ三代ニ止ルハ禮也ノ事
- 神像ニ對シテ禮拜ヲナス時ノ事
- 神ニ願ヲ立成不成就ノ事
- 神前ニ至ル時ノ衣服ノ事
- 神明ヲ敬ト不敬人トノ事
- 神前ニ於テ戲ヲ不可言等ノ事
- 城隍ノ朝ニハ毎月參詣スベキ等ノ事

○祭神ニハ必可盡禮事

○神ニ具物ヲ供時舊器ヲ不可用等ノ事

○平生行陰徳人ハ不禱神肯護玉ヲ等ノ事

○今人遇禍時ハ神佛ヲ禱事

○有望人ハ常行善事朝夕可禱神事

第二

敬佛章

九段

○拜佛行善人ノ事

○信佛者預可起慈悲心事

○敬佛人ハ可行佛道事

○信佛人ハ多ト云云敬佛人ハ少ナリト云事

○於佛前無亂言等ノ事

- 二寶ニ歸命セン人ノ心持ノ事
- 佛法ニ歸命ノ朝夕佛ヲ拜シ經ヲ讀人ノ事
- 今時ノ惡人天罰ヲ恐テ佛ヲ拜スル事
- 佛法ニ歸命セン人ハ五倫ヲ盡スベキ事

第三 敬老章

六段

- 年老人ニ遇須盡敬等ノ事
- 老人ト同座スル時ノ事
- 年長セル人ニ遇恭ク禮ヲ行事
- 年老ノ人ハ我親同前ニ可敬事
- 少年ハ年老ノ提調ヲ可受事
- 我ヨリ位低ト云凡老人ハ可敬事

第四 戒已章

十五段

- 守道泛行仁子孫可繁榮事
- 不淫人妻女不唆人爭訟等ノ事
- 常掩惡可揚善等ノ事
- 作事可循天理等ノ事
- 捐錢財救人貧垂教訓等ノ事
- 今人凡情未滌故認善爲惡等ノ事
- 人密爲惡天地鬼神鑒曉等ノ事
- 人一生爲惡臨死悔等ノ事
- 人若好美食殺生セバ必有其報等ノ事
- 處貧賤人羨他富貴願アル事

- 當世人未修己身擅論他善惡事
- 不改過則以家喪身ノ事
- 金銀ハ可惜シテ不可食ト云事
- 金銀ヲ亂ニ使者ハ必損福事
- 諺ニモ富貴ハ冤ノ叢ト云事

第五 喪葬章

五段

- 人子事親惟送死可以當大事ト云事
- 君子有終身之喪ト云事
- 風水之說ノ事
- 葬墳太遠止因惑於風水ト云事
- 人子送親棺槨殯葬書多載ト云事

第六 疾病章

十二段

- 曾見病者延醫至家不告以得病之由事
- 孩童出痘婦人生產二者關係匪輕ノ事
- 人或偶爾吐血不可概作虛勞而論事
- 凡小兒瘡癬氣血未足等ノ証ノ事
- 小兒急驚有推拿一法事
- 小兒種痘一說ノ事
- 大人癰疽由七情六慾所致等ノ事
- 癰疽發背關六慾七情ト云事
- 有病不服藥為得中醫者ト云事
- 凡有疾病者頼明醫藥餌之調理為易治事



○痧症發熱不過數日即出近來十數日以至半月  
○旋見點者アリ等ノ事  
○餓不効傷寒喫不効痢疾此二語醫書無其說事  
○人能於無病時防有病則可永無病等ノ事

○卷之七

第一 醫藥章之上

五十二段

○人皆知人參能補人不知亦能害人事  
○間暇ノ時ハ宜看醫書ト云事  
○一病有一藥可治一症有一方可療ト云事  
○施藥一節擇醫為主等ノ事  
○人謂上等之人無病服藥等ノ事

○小兒痘症雖有順逆危險之分實有寒熱虛實之  
異等ノ論

○金汁一種購之雖出重價真偽難辨ト云事  
○每閱醫書方論稱其草為國老等ノ異名

○附錄倉卒收入醫術

○金汁ヲ蓄テ專痘門執症等ヲ治スル事  
○服銀炆水者  
○鹽瀉ヲ服スル者  
○中河魷毒者  
○中菌子毒者  
○魚刺鯁喉者  
○諸骨鯁喉者  
○候吞金銀銅錫者  
○急効ヲ救  
○凡自縊人ノ事  
○自刎人ノ事

○凡水溺人ノ事

○冬月凍死ノ事

○中暑神氣昏眩途中ニ熱外スル人ノ事

○五體ヲ摧壓或跌手足ヲ打折或ハ高ヨリ墜及ビ竹

木ニ磕或ハ落馬シ或車ニ撲形ヲ損傷人ノ事

○夜間夢寐魘住不能醒人ノ事

○驚怖テ死スル者

○中惡ノ者ノ事

○湯渌火燙ノ事

○刀ニテ割傷者ノ事

○箭鏃入肉者

○竹木刺入肉中者

○走馬牙疳無故起者

○瘡癰潰爛並刀鎗傷者

○人ニ咬傷者

○風犬ノ事

○毒蛇ニ咬傷者

○蜈蚣ニ咬傷者

○壁虎ニ咬傷者

○百蟲入人耳事

○誤食斷腸草毒者

○誤吞螞蝗者

○燒酒醉斃者

○火ニ燒テ悶絶スル者

○喉蛾輕者

○喉閉タル時

○陰症

○暑ニ傷腿肚轉筋スル者

○癰疽疔灸疔毒宜針

○對口疔火針刺之爲最

○凡小便不通者

○痔瘡痛楚難忍者

○發背膏藥一方

○治濕痰流注

○卷之八

第一 醫藥章下

○楊梅瘡ヲ治ス

○醫書所載乾霍亂者即馬

沙脹之別名也

○鼓脹者即單腹脹也

▲增附驗方

○膈食方

○膈氣神驗方

○赤痢方

○瘧疾方

○小兒頭上肥瘡

○乳癰方

○赤眼方

○小兒天泡瘡

○絞腸痧腹中脹痛

○急喉風方

○治痔瘡大便下血

○治脫肛

○治赤白痢疾

○治下部生濕瘡熱痒而痛寒熱大小便澁食減身

面微腫妙方

○治紫白癩風

○治赤白癩風

○治咳嗽久患連嗽四五十聲者奇方

○治年深日久咳唾膿血勞嗽喘急晝夜無眠諸藥

不効者奇方

○治精洩奇方

○治年壯氣盛或久獨居精溢夢洩

○治諸淋病小便赤澁疼痛妙方

○治石淋奇方

○治五淋奇方

○治淋病疼而不忍及砂石淋

○治冷淋奇方

○治夜小便多妙方

○治睡中遺尿方

○治酒渣鼻奇方

○卷之九

○卷○治膿氣奇方

- 又一方 ○治小兒夜啼方
- 治小兒初哭不止 ○治小兒寸白虫
- 治小兒頭上瘡及浸淫瘡並急疔瘡方
- 治小兒喫黃土方 ○治小兒口瘡方
- 治小兒疳瘡多生面部兩耳前方
- 治小兒眉煉頭瘡方 ○治小兒火丹起背上方
- 治小兒胭脂火丹 ○治小兒丹毒方
- 治小兒痘瘡出不透腹痛甚或黑陷者方
- 治天行痘瘡方 ○凡小兒初生下方
- 欲小兒不出痘瘡方 ○治痘瘡陷入不發方 三方

○痘瘡初出光壯忽然倒靨黑陷心中煩燥氣喘安

語如見鬼神急宜治不然毒氣入臟必死

○小兒初發熱之時治 ○治小兒痘瘡入眼

○治痘瘡入目成翳 ○治痘瘡入眼或病後生翳

障妙方 ○治小兒痘瘡肥極而膿血淋漓

○治痘疔奇方 ○治痘欲發未發

○治痘瘡已發不起脹無膿者

○治小兒牙齒不生 ○治小兒陰囊忽腫

○治婦人血崩 ○治偏頭痛妙方

○治頭風偏正頭痛及冒寒為痛者奇方

○治卒心痛方 ○治急心痛熱痛奇方

- 治男子陰腫核大如升而不能治
- 治小腸疝氣痛
- 治子死胎不下胞破不生奇方
- 治難產胞衣不出及兒死腹中欲絕者
- 下死胎妙方
- 諸毒圍藥方
- 治產後腹脹痛不忍

▲家傳妙方

- 頰ニテモ咽ニテモ腫タルニ妙方
- 虫喰齒ノ妙方
- 心痛諸藥不効ヲ治
- 婦人ノ乳ヲ多ラス妙方
- 強氣力妙方
- 疝氣ニテ腹痛スル奇方
- 走痔疣痔ノ妙方

- 癰ノ大妙藥
- 瘡下妙方
- 瘡藥但顯藥
- 唐瘡内藥奇方
- 向付藥妙方
- 打傷ケルニ妙方
- 治吞巴豆者
- 治誤吞鈎針者
- 喉痞妙方

增補廣類願體俚諺鈔總目終

- 治小腸疝氣痛
- 治子死胎不下胞破不生
- 治難產胎不出及兒死腹中
- 治產後腹痛
- 治產後血暈
- 治產後惡露不盡
- 治產後大便不通
- 治產後小便不通
- 治產後發熱
- 治產後咳嗽
- 治產後嘔吐
- 治產後泄瀉
- 治產後驚風
- 治產後抽搐
- 治產後口乾
- 治產後口渴
- 治產後身熱
- 治產後身冷
- 治產後身痛
- 治產後身重
- 治產後身輕
- 治產後身軟
- 治產後身硬
- 治產後身黃
- 治產後身青
- 治產後身赤
- 治產後身白
- 治產後身黑
- 治產後身紫
- 治產後身藍
- 治產後身綠
- 治產後身紅
- 治產後身黃
- 治產後身青
- 治產後身赤
- 治產後身白
- 治產後身黑
- 治產後身紫
- 治產後身藍
- 治產後身綠
- 治產後身紅

醫補廣類願體性診鈔卷一

第一 總論 初葉

第二 父子章 初葉裏 十九段

又 三葉裏 七段  
十五葉表

第三 兄弟章 十五葉表 五段

第四 夫婦章 婚姻同 十七葉裏 十一段



四 夫歌章 廿四章 同十卷裏 十一列

三 只余草 十五卷裏 正列

二 天 廿五卷裏 小列

一 父子章 卅卷裏 十八列

一 勝篇 卅卷裏

增補廣類願體俚諺鈔卷一

平山史典摺臣氏編輯 天都汪瑞齡虞輯  
陽羨蔣笛子登氏增纂 吳門 仲元熹公菴 參閱  
薛鈞鴻生

神邦洛下隱士毛利貞齋解

第一 總論

天地ヲ尊敬シ。君王ニ忠義ヲ盡シ。父母ニ孝ヲ勉勵シ。  
師長ヲ尊敬シ。夫婦和合シ。兄弟ニ友愛シ。朋友ニ信ヲ  
以テ交ハリ。親戚ヲ父族ノ一門ヲ親ト云志篤ク親シシ。  
鄉黨ノ間。人ト親シク睦シクスル。此數者ハ人倫ノ根本  
也。逐一體認シ。勤メ行フトキハ。仰テ天ニ愧ルコトナク。

類聚美和詳卷一

切

俯シテ。人ニ作ルゴトナキニ庶カラシ。苟此等ノ事ヲ重  
ゼズンバ。田ニ諸經ヲ讀誦シ。諸佛ヲ供養シ。僧ニ千向  
ヲナストモ。何ノ益カアラン。是近キヲ舍テ。遠キヲ求  
メ。本ヲ棄テ。末ヲ務ムルナリ。何ゾ善トスルニ足ンヤ

第二 父子章

萬物體ヲ地ニ托ス。故ニ地ノ恩ハ見ルベクシテ。天ノ恩  
ハ見ルベカラズ。人ノ子體ヲ母ニ托シテ。生ル、ガ故ニ母  
ノ恩ハ見ルベクシテ。父ノ恩ハ見ルベカラズ。天ノ萬物ニ  
於ルヲ知ルトキハ。父ノ子ニ於テスルコトヲ知ラン

○母ノ慈ハ子ノ身ヲ保ツトコロナリ。父ノ慈ハ子ノ心  
ヲ保ツコヘンナリ。蓋シ陽ハ萬物ニ賦リ與フルニ性ヲ以

テシ。陰ハ萬物ニ賦リ與フルニ形ヲ以テスルノ道理始  
終如是ナルノ三

○父ハ子ヲ慈愛シ。子ハ親ニ孝行ヲ致シ。兄ハ弟ヲ憐  
三。弟ハ兄ヲ恭敬スルコト。人倫自然ノ道ナレバ。縦ヒ至  
極ノ處ニイタリ盡ス所。只是如此ナルベキ道理ナレ。是  
ニ一毫ホドモ私ノ念慮ヲ起シ。吾ハ逸レテ。克勉メ行  
フト思ベカラズ。苟モ吾ハ如此道ヲ行ナヒ盡セ所。彼  
放カラ我ヘノ仕形ハ。曲モナキナド、思ヒ。恩徳ヲ此  
べ。金銀ヲ筭用スルガ如ク。指引ラシテ。勤メ行ハ。是父  
子兄弟ノ間ノ道ニアラス。便チ路人ノ意。或ハ市井ニ  
聚ル人ノ利欲ヲ貪ル心體ト同ジ。能私意ヲステ。實



心ニ行ナフ一肝要ナリ

○事親者ハ菽水ノ食モノ飲モノタリトモ。親ノ心ニ適  
 ヒ歡ヲ承ルヤウニスベシ。子タルモノ仕合ヨク美味アル時  
 ハ誰人モ皆親ニ供養セシテ欲ハ同シケレモ哀ヒカ  
 ナ。老タルハ先ダツ常ノナラヒ。縱令親未タ老衰ニ至リ  
 玉ハズモ人命朝ノ露ノ夕ヲ慮ラサルガ如シ。親早ク世ヲ  
 去リ。在サズンバ。大牢ノ牛羊豕滋味ヲナラベ。大ニナル  
 弔祭ラスルトモ。親存在ノ中ニ輕キ鹿味ヲ進テナリ  
 トモ。歡心ヲ得タルニ比フレバ。杏ニ劣レリ

○孔夫子ノ門人仲由字ハ子路モ。始兩親ニ孝養  
 フ勉ムルトキハ貧シク。親没シ玉ヘル後ニ富貴ニナリテ。

親ノ在サバルトヲ至極歎ケル例アリ。或時孔夫子  
 ニ見ヘテ曰ク。重キヲ負。遠キ路ヲ涉ルトキハ。負ルモ  
 ノ重キヲ苦シムガユヘニ。地ノ淨不淨ヲ擇マズシテ  
 休息ス記上ハ家貧シク親老ヌルトキハ。孝養ノ不  
 自由ナルヲ歎クガ故ニ。我器量才藝ニ相應ノ祿ヲ  
 擇ムニ暇アラズ。小祿ニテモ。仕ルモノナリト承ル  
 昔吾兩親ニ孝養ヲ勉ムルトキ。甚ダ貧カリキ。常  
 ニ藜藿ノ實ヲ食テ。親ヲ養ハンタメニ。米ヲ百里  
 ノ外ニ負。其賃ヲ取テ。漸ク孝養セリ。兩親没シ  
 テ後。吾南方楚國へ遊歴シテ。大夫トナリ。車百兩  
 ニ乗ル從者ヲ從へ。家ニハ粟ヲ積テ萬種一種ト云ハ。六斛

四斗齒ヲ累子テ坐シ。歟ヲ列子テ食ヘ。樂三ナシ。只願クハ昔ノコトク。兩親ニ孝養スルガ爲ニ。藜藿ノ實ヲ食ヒ。米ヲ負マク欲スレ。得ベカラズト云テ哀メリ。孔夫子此ヲ聞テ。仲由カ事親親存命ノトキハ。事マツルニ。弊カヲ盡シ。親歿セルトキハ。事マツルニ。思慕ノ念ヲ盡スモノナリト。稱美シ玉ヘリ。子孔家語第一致思。此事ヲ鑑ミトシテ。父母存命ノ間。一。孝養ヲ盡スベシ。後ニ悔トモ。何ノ益カアランヤ。二。凡ソ人ノ子タリ。弟タル者。各ヲ付。字ヲ付トキ。古ノ聖人賢人ノ名。先世祖宗ノ諱ヲ犯ス。ナカレ。

○我朝ニテモ。今上皇帝ノ御諱或ハ大樹。或ハ二其國

ノ太守。或ハ祖父ノ名乗ノ字ヲ避ベシ

○繼嗣トテ。我が後嗣ノ子ヲ持サル人ハ。他人ノ子ヲ我カ家ニ養ヒ。立ルヲ云。實子ナキ人ハ。早ク養子ヲキワムベシ。凡ソ養子スベキ人。浮々シテ。養子モセサレバ。我が歿後ニ繼ヲ争フコト紛々タリ。且禍蕭牆ノ内ニ起ル事。恆ニ多シ。能心得ベシ。且繼ヲ争フハ。何ノ故ナレバ。跡ヲ嗣フノミヲ望ムニアラス。其跡ノ財實生産ヲ嗣テ。得ント。人々圖者ナリ。紛争フニ至テハ。有シ家財徒ラニ廢リ。先ニ繼ベキ者ト。思ヒシモ。家産廢ルレバ。繼コトヲ願ハズ。然レバ。我身存在ノ内。養子ニヨキ者ヲ擇ビ。早ク世ツギト定メ。意ヲ加ヘ。撫養ヒ。恩愛ヲ感ス

ルコト深重ナラシムレハ。我身歿シテ後。筆ソヒナキノミ  
 ナラズ。養子モ亦恩愛ノ深キヲ願戴シテ。自ラ生シ子  
 ヨリモ。マサル。解アルベキコトナルヲ。何トテ早ク養子ヲ  
 セザルト。憐リミルニ。早ク養子シテ。晩年ニ實子出來タ  
 ラバナド。恐テ。油斷セリ。是大ナル誤リナリ。縦ヒ實子  
 出來タリトモ。家財ヲ分キ。與フルニ。何ノ害カアラン。萬  
 一實子ナキ時ハ。各跡家財共ニ滅却スルナリ。早ク養  
 子ヲ立テ。實子モ亦有之ナハ。愈人世ノ大ナル幸ナリ。  
 何ソ家財ヲ惜ミ。他人ノ嚙ヲ招フヲスルヤ  
 ○父母ノ子ヲ慈愛スル心。固ヨリ萬事至極ナラサル  
 コトナシ。然レ凡世ノ体ヲ觀ルニ。愛スルニ其道ヲ以テセ

ズ。愛スルニ似テ。及テ子ニ害ヲナスモノアリ。毎ニ人家  
 ノ子女ヲ鍾愛スルヲ見レバ。飾ルニ珠寶金銀ヲ以テ  
 ス。其子ヲ守ル者。疎略ニスレバ。人賣ナドニ執レテ。流  
 浪シ。或ハ重キ難ニ逢トキハ。身ニ帶ル此貨ヲ取レ。命ヲ  
 失フコト。古今勝テ記スベカラズ。勝トハ。多キヲ云是子ヲ  
 殺ス者ハ。金銀珠玉ナリ。暴惡ノ人ヲシテ。愛子ヲ殺  
 サシムルモノハ。父母ノシワザナリ。故曰愛子實所以害  
 之ト云リ。凡ソ人ノ父母タル者。此道理ヲ鑒ミ悟ラス  
 ンハアルベカラズ。後ニ悔トモ。何ノ益アララン  
 ○少年ノ子弟ヲ浮間ニ作業ナク居ベカラズ。必其  
 々ノ器量ヲ推察。士農工商ノ間。何ナリ凡。其生質ニ

庶ジテ。一業ヲ授ケ與ヘテ。習シムルトキハ。心ニ關リ  
係ル所アツテ。身ニモ拘ル所アリ。然レハ内外ニ於テ。  
家業ヲ管ニ謀ルニヨリテ。自ラ餘念ヲ生ズルニ暇ナ  
ク。其作業ヲ克勉ム。若子弟ヲ徒ニ放逸テラシメバ。飽  
マテ食ヒ。終日必風花雪月歌舞游晏ヲ好シ。或ハ博  
奕ニ。或ハ游侠ヲ好シ。他人ト闘ヒ。道理ニ狠ル体ニ流  
レ入ラン。然レバ諸般ノ及事出來タリ。産業モ蕩シ。家モ  
破レ。身モ凶ビ。行ヒモ敗レヌルハ。必定ナリ。人ノ父兄タ  
ル者。少年ノ子弟ヲ待遇ニ於ル。必不一事ヲ尋擇シ。其  
人ヲシテ。時夜眠ナク。傲シムベシ。利ヲ得ルコトヲ所要ト  
スルコトナカレ。其レニ即テ。大ナル利ナク。凡身心其事ニ

拘リテ。放逸ナラズ。一ニハ世上ノ務メヲ知リ。二ニハ  
人情ヲヨク諳シ。鍛鍊シ。三ニハ學識ニ長シ。進ニナハ  
優チ。是大ナル利益ナリ。豈必金銀ヲ得ルノミ。利益  
ナランヤ。然レバ。縦ニ子弟ヲユルシテ。浮間ニシキナラ  
ハスルハ。貧窮ノ道路ニ。スソルナリ。黄金十萬ノ多キヲ  
遺シ。與フトモ。何ノ益カアランヤ。  
○父母堂ニ在トキ。醫ノ道ヲ知ラスン。ハアルベカラズ。  
若急ナル瘵アル。キハ。脉ヲ診シ。藥ヲ用ル。爲ナリ。父母  
歿後ニ於テハ。風水ノ爲ニ惑サルベカラスト云ヘ。凡其  
地理モ亦心ニ究ベシ。天地ノ事ヲ書タル書ヲ。人子須  
知。各ツケタルハ。正ニ是此心ナリ。

○父ハ嚴密ニ母ハ慈愛スルハ天性自然賢愚カハラス。同ジキ一ナリ。但母ノ慈愛過スレバ子心マニ遊樂ス。是母ノ過ナリ。然ルニ父嚴勵ニシテ業ヲ習シメ學問ヲ勉メシムルニ餘リツヨク責ヌレバ其子父ニ親ム心ナク反テ恐懼シテ前マザルモノ多シ。知識顛倒シテ言語問答口ヨリ出ズ埒明ヌヤウニナルハ餘リツヨク責シ一ノ過ナリ。速ニ成長センヲ願フ心ヲヒカユベシ。是母ハ慈ナルベシ。然レモ大慈ハ宜カラズ父ハ嚴ナルベシ。然レモ大嚴ハ宜カラズ。方ニ中道ヲナシテ可ナリ。孩童ノ愚蒙ヲ開カント欲ハバ宜シク徐々ト教導ベン。任意撲責ベカラズ蓋血氣未足ラス知識イニ

全カラザル一。縱ハ含葩嫩蕊ノコトシ其時ノ至ルヲ俟バ自然ニ開放ス。若循々ニ善誘カス一徧ニ嚴厲ヲセバ獨其子ノ聰明ヲ閉ギ機ヲ呆ニナスノミナラス。其上驚悸ノ病ヲ生ジ成毀ナリ。然ルヲ再ビ小兒ノ微キ疾ノ如ク亂ニ牛黃丸ヲ投テ心竅ヲ涼メ過シ。大ナルニ到テ目眩痴呆トナリ救フベキアラハルニイタル。豈惜ムベカラザランヤ

○分析トテ家財ヲ分ツ事ナリ。昔張公トイヒシ人ハ九代居處ヲ同シテ居レリ。今ニ至ルマデ世人傳テ美談トセリ。今ノ人恐クハ教ヲアタハス。此百忍ノミ。分析ノ如キハ太ハダ早キモ不宜。太ハダ遅キモ宜カラズ能

勘辨スベシ。太々早ケレバ。少年ハ物ゴトニ艱難ヲガメ  
サランコトヲ恐ル。然レバ。心浮蕩シ。行迹輕廢ノ家ヲ致ル  
コトヲ致ス。若又太々遲キ時ハ。變幻多端ナリ。如或ハ子  
孫多ナリ。眷屬衆クシテ。家務ヲ祖父一人ニテ。統掌ト  
リモフニヨリ。子孫眷屬一切ノ食物衣服ノ類ヲ。我  
人盈足シコトヲ思テ。少モ主人ノ心ヲ察シ。識者ナシ。或  
金銀ヲ盜取テ。私ニ是ヲ蓄ヘテ。用サルモノ一人アレバ。  
誰カ用ヲ足シテ。取ラサルモノアラシヤ。一々我勝手  
ヲスルナリ。主人此時人ノ善惡ヲ正サントスレバ。色々  
ニ陳シテ。例ヲ引申分ケシテ。家ノ表ヘモ顧ズ。取用  
ルコト常ノゴトク。或ハ下女下男ニ目クバセシテ。暗ト竊

主人御免ノ物トナシ。何トモ思フ心ナシ。且衣服器物ヲ  
取索テ。我思様ニナケレバ。満足セ又風情ニテ。笑止ナ  
ル事ナリ。然時ハ子孫眷屬同ク居ル者ハ。各妻子ト  
人ノ口數ヲ量リ。毎年衣食ノ給分ヲ以テ。自ラ取置  
クサセ。自ラ飯ヲモ炊ク様ニスベシ。俗云親生子著已  
財物ゴトニ錢財ヲカルノ難義ヲ克子ニ知ラシメヨ。  
是財ヲ惜ムニアラス。福ノ損センコトヲ惜ム。而後再ヒ  
其子弟ノ才幹ヲ度テ。資本ヲ量リ付屬金銀ノ使ヒ  
ヤウ。人情世事ノ故ヲヨク知ラシム。此不分中ノ小分  
也。其子年高物ニ練レ。其後大ニ分千與フヘシ。サレ  
財寶ノ中。我老後ノ娯ニスル程ハ。殘置ヘシ。其故ハ若

頂禮集卷之四

盡ク舉<sup>ミ</sup>折<sup>カ</sup>與<sup>マ</sup>フレバ勢必<sup>ス</sup>日<sup>シ</sup>計<sup>ス</sup>へ月<sup>ツキ</sup>計<sup>ス</sup>へ輪<sup>リン</sup>流<sup>リウ</sup>シテ膳<sup>セン</sup>ノ供<sup>ク</sup>へニアフトイへ庄<sup>シヤ</sup>或ハ不<sup>フ</sup>賢<sup>ケン</sup>ノ媳<sup>ケシ</sup>有<sup>アリ</sup>テ行<sup>ユク</sup>フベキヲ止<sup>メ</sup>有<sup>ル</sup>物<sup>モノ</sup>ヲモ無<sup>ク</sup>トイフテ往<sup>ツキ</sup>々<sup>々</sup>ニ父子<sup>コノ</sup>ノ間ニ忌<sup>イ</sup>嫌<sup>ケン</sup>コト有<sup>ル</sup>ニ至<sup>ル</sup>然<sup>シ</sup>ル時<sup>トキ</sup>ハ殘<sup>ノコ</sup>シ置<sup>キ</sup>タル物<sup>モノ</sup>ヲ以<sup>テ</sup>生<sup>イ</sup>息<sup>キ</sup>老<sup>ラウ</sup>ヲ娛<sup>タノ</sup>シムベシ且<sup>ナ</sup>子<sup>コ</sup>孫<sup>ソ</sup>ヲシテ親<sup>ヲ</sup>ヲ尊<sup>ツク</sup>敬<sup>ク</sup>シテ仰<sup>オホ</sup>望<sup>ノシ</sup>ノ心<sup>ココロ</sup>アラシム或ハ勉<sup>ツク</sup>強<sup>ク</sup>シテ承<sup>シユ</sup>順<sup>ジュン</sup>スヘシ此<sup>ノ</sup>居<sup>ル</sup>家<sup>ノ</sup>ノ善<sup>ニ</sup>法<sup>ヲ</sup>孝<sup>カウ</sup>慈<sup>シ</sup>兩<sup>リウ</sup>全<sup>ゼン</sup>ノ道<sup>ノ</sup>也<sup>ナリ</sup>况<sup>トモ</sup>ヤ既<sup>ニ</sup>分<sup>ク</sup>之<sup>ヲ</sup>ノ後<sup>ノ</sup>子<sup>コ</sup>孫<sup>ソ</sup>未<sup>ダ</sup>人<sup>ト</sup>々<sup>々</sup>身<sup>ヲ</sup>立<sup>タ</sup>サ<sup>ル</sup>事<sup>ヲ</sup>アラフバ其<sup>ノ</sup>間<sup>ニ</sup>備<sup>ヘ</sup>意<sup>アル</sup>ベシ隱<sup>シ</sup>居<sup>ル</sup>料<sup>ノ</sup>中<sup>ヨリ</sup>此<sup>ヲ</sup>助<sup>ケ</sup>テ意<sup>ノ</sup>マナ<sup>ル</sup>ベシ

○父<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>望<sup>ム</sup>其<sup>ノ</sup>為<sup>ル</sup>人<sup>ト</sup>孝<sup>カウ</sup>悌<sup>テイ</sup>忠<sup>チュウ</sup>信<sup>シン</sup>ニシテ厚<sup>ク</sup>情<sup>ナ</sup>ラシコトヲ欲<sup>セ</sup>ザ<sup>ル</sup>モノハアラス然<sup>ル</sup>ニ妾<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>産<sup>ミ</sup>テ後<sup>ニ</sup>乳

哺<sup>ホ</sup>能<sup>ク</sup>食<sup>シ</sup>總<sup>ツツ</sup>角<sup>カク</sup>シテ能<sup>ク</sup>行<sup>ク</sup>比<sup>シ</sup>ラヒ其<sup>ノ</sup>妾<sup>ヲ</sup>追<sup>ヒ</sup>去<sup>リ</sup>少<sup>シ</sup>モ憐<sup>ミ</sup>ム心<sup>ナ</sup>シ斯<sup>ノ</sup>如<sup>ク</sup>ニシテハ誰<sup>カ</sup>喜<sup>ベ</sup>キ妾<sup>甚</sup>甚<sup>ダ</sup>恨<sup>ミ</sup>ヲ結<sup>ビ</sup>離<sup>シ</sup>ヲナサントス此<sup>ノ</sup>人<sup>倫</sup>五<sup>ノ</sup>常<sup>ノ</sup>中<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>慘<sup>シ</sup>刻<sup>シ</sup>事<sup>ナ</sup>リ其<sup>ノ</sup>父<sup>此</sup>心<sup>ニ</sup>シテハ何<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>カ其<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>教<sup>ム</sup>訓<sup>ム</sup>セン夫<sup>ノ</sup>先<sup>ニ</sup>ハ子<sup>ナ</sup>キ故<sup>ニ</sup>妾<sup>ヲ</sup>置<sup>キ</sup>我<sup>ノ</sup>子<sup>孫</sup>ヲ廣<sup>ク</sup>メント思<sup>ヘ</sup>リ今<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>生<sup>テ</sup>後<sup>母</sup>ト子<sup>ヲ</sup>活<sup>ナ</sup>カ<sup>ラ</sup>是<sup>ヲ</sup>引<sup>キ</sup>析<sup>シ</sup>彼<sup>ニ</sup>憂<sup>ム</sup>目<sup>ヲ</sup>ミスル一<sup>以</sup>ノ外<sup>ノ</sup>非<sup>ヒ</sup>義<sup>ナ</sup>ナリ心<sup>ニ</sup>厚<sup>ク</sup>情<sup>ヲ</sup>存<sup>ス</sup>ル者<sup>ハ</sup>豈<sup>ニ</sup>是<sup>ノ</sup>如<sup>ク</sup>キノツラキ事<sup>ナ</sup>ラセシヤ若<sup>シ</sup>其<sup>ノ</sup>妾<sup>ノ</sup>容<sup>貌</sup>ノ醜<sup>キ</sup>コトヲ憎<sup>ム</sup>バ何<sup>ン</sup>ゾ先<sup>ニ</sup>寵<sup>ス</sup>愛<sup>ス</sup>ルヤ若<sup>シ</sup>妾<sup>ノ</sup>名<sup>ヲ</sup>嫌<sup>ハ</sup>昔<sup>カ</sup>ラ禮<sup>法</sup>ノ書<sup>ニ</sup>本<sup>ノ</sup>妻<sup>ノ</sup>生<sup>タル</sup>嫡<sup>子</sup>妾<sup>ノ</sup>生<sup>タル</sup>庶<sup>子</sup>皆<sup>共</sup>ニ載<sup>タリ</sup>何<sup>レ</sup>

ソ其名ヲ嫌シ。况ヤ其妻身ヲ主人ニ托シテ。一生ヲ  
 頼ム所ニ且子出來タレバ。又母ノ道モ關ル所ニシ  
 テ。天性ノ骨肉ナリ。而シテ却テ秦楚ノ如ク。分チ離ス  
 ハ。痛シキ事ナリ。其子知トキ到テ。何ゾ此ヲ嘆サラ  
 ンヤ。昔朱壽昌「云シ人ハ官職ヲ打棄テ。母ヲ尋タ  
 リ。常二人ニ對ノ。母ナキコトヲ耻テ。書卷ヲ掩テ。涕ヲ  
 流シ。悲シ例シ。小學ニモ見タリ。凡善心ノ長厚ヲ存  
 シ。子ニモ善心長厚ナラシコトヲ望ム者ハ。斯ノ如キノ  
 非理ナルコトハ。自然ト不爲者ナリ  
 ○男子ノ婚禮太々早キハ。宜シカラズ。女子ノ婚禮太  
 々遅キハ。宜カラズ。其中委曲ノ事多シ。盡クニ是ヲ述

ルコト能ハサルナリ

○今ノ人毎ニ言。女子ハ外ニ往我家ノ爲ナラズトテ。  
 大方ニシテ。教ヘサルトナン。是大ナル誤リナリ。男子ヲ  
 養育シテ。克教ヘサレバ。家門ニ大ナル玷ヲ止ム。女子  
 ヲ養ヒテ。克教ヘサレバ。患ヲ他人ニ貽ル。其辱必父母  
 ニ及ズ。此事ヲ思サルヤ。又知サルヤ。故ニ婦ノ道ハ。人  
 ニ順スルヲ以テ。貴シトス。大凡婦ノ勤ムベキハ。舅姑ニ  
 孝アリ。妯娌ニ和睦シ。夫ヲ敬ヒ。子女ヲ訓ヘ。下人下  
 女ヲ恤ミ。紡績ノ事ヲ勤メ。食物ナドモ。約ニシテ。家ノ  
 乏キラ不厭。苦勞ノ事ニモ能任。惡人ノ讒言ヲ聽入  
 ス。外人事ニ與セサルヲ。所要トスベキナリ。此ヲコソ嗜



ベキヲ。今ノ女ノ習也ハ。唯髪ヲ工ニ梳ツリ。紅粉ノ粧  
ヲ事トシ。衣服ヲ華ニシ。櫛簪ヲ炫シ。飲食ヲ選。止容  
貌ノ三節ルヲ知リテ。敢テ婦ノ道ヲ敬ミ。事ルコト  
能ハス。誠ニ哀カナ。閨訓トテ。閨門内務證ノ女子ヲ訓ニ  
ハ。女史内則ナド、テ。親切ナル書物アリ。ヨクク讀之  
請一解シメ。スンバアルベカラズ。

○子ヲ生テ後。自身ノ乳ヲ用テ。育シ安トスルナレ。  
若乳婦ヲ覓バ。必ス容貌端正諸事莊ニ嚴ム人ヲ擇  
ブ。後由ニ其子長テ。容貌諸事乳婦ニ肖モノ世  
多シ。我が實子ヲ打棄テ。人ノ乳婦トナルハ。家乏ニ  
因テ使ル、耳。但伊カ貧ヲ周メ。宜ク豊ナラシムルノミ

ニアラス。必ス伊カ子ヲシテ。飢渴ノ患ナカラシムル時ハ  
彼ノ乳婦ノ心ニ於テ。相安ンゼン。コトヲ庶幾ス。禁ジテ。  
隣里市町ノ内ニ。街コトヲ聽スベカラス。且隣家ノ年  
老タル下女ナド、那邊這邊ト往來スルトキハ。案外  
ナル事ヲ仕出スベシ。心ヲ加ヘテ。防止ベキ事ナリ。  
○人ノ子ヲ生テ後。其子ノ多壽ナランコトヲ欲ハス  
ト云コトナシ。晩年ニ至テ未子ヲ生サル時ハ。是レヲ  
望ムノ心太夕親切ナリ。然バ子ヲ生タル日ニハ。宜ク  
身ヲ潔クシ。心ヲ正シフシテ。先祖ニ告奉リ。諸ノ善  
事ヲ作テ。其子ノ壽ヲ祝スベシ。方ニ斯ノ如クハ。是  
延齡ノ道トスルナリ。奈ガセン。今世人ノ相傳作ヲ見

ルニ子甫テ母ノ胎内ヲ離レ出ヌレバ即チ雞鴨ノ卵ヲ煮テ粥食ヲ佐ケテ人ニ食シメテ已ナシ又産家ニ隣里親友ノ饋アリ皆生類ノ物ニシテ或ハ數十饋人アリ或ハ數百饋ル人アリ又親友ヲ迎ヘテ禮ヲ酬ユルニモ亦雞鴨ノ卵ヲ缺コトナシ家ノ富タル者ハ卵ヲ用ルコト固ヨリ多シ子息ヲ晚ク得タル人モ此ヲ用ルコト憂ニ少カラズ又再雞ヲ殺シ癩ヲ料理シテ酒ヲ飲テ歡ヲ盡シ又子ヲ生シテ慶セントシテ一旦ニ千萬ノ生命ヲ害ス如斯ナラハ恐クハ壽命長ク富貴多ク子孫繁榮ナドヲ祈ラバ實ニ天地ノ違ナリ竊ニ謂ニ長命ヲ求メント欲スル者ハ

放生ヲ勉ムベシ放生スルコト能ハズンバ先獲ク殺生ヲナスベカラス尋常サヘ宜ク殺生スベカラス況ヤ子ヲ生ル日ハ甚是ヲ忌ベキ事ナリ若親友ノ來リテ賀スル者アラバ菓子或ハ酒等ヲ以テ是ヲ待遇シテ可ナリ尙ゾ殺生スルコトヲ用ヒンヤ

○不孝ニ三ツノ品アリ其内ニ於テ後ナキヲ大ヒナリトス實子ナクシテ養子ヲ立ル事子ハ親ノ在世ノ内ハ孝ヲ益シ必後ニハ禮ヲ整ヘテ祭ル是皆先祖ノ遠ニ及ブニテ孝ノ關ル所ナリ然レバ其養子ヲ望ノ心最重カルベシ近頃無子人ヲ見ルニ先ニ繼子ヲ立テ後ニ及チ子ヲ産ルトキハ輒ハ繼子ヲ母ノ上ノ瘤

ノ如クニ思ヒ。其繼子ノ言コト。作事舉止動靜一々皆意ニ慍ス久フシテ。竟ニ讐敵ノ如シ。惡ニ視コト眼中ノ釘ノ如シ。諸ノ計ヲナシテ。本ヨリ家ヲ繼ベキ人ニアラストシテ。即チ其微ノ垢ヲ嗽出シテ。汚キ各ヲ加ヘリ。當日ハ朋友ヲ頼ミ。嫌ヲ求メテ。他ノ子ヲ招ケリ。今日ハ其人ヲ黜シ辱シメ。憎嫌テ之ヲ去シム。已前ノ心ト。今日ヨノ心ト。何ゾ異ナルヤ。其人ノ意ヲ察シ見ニ我財ヲ他人ノ子ニ分與ルヲ惜ノ心アリ。殊ニ晩年ニ子ヲ生ズルトモ。身已ニ老テ。子未幼生ナリ。人身ハ水ノ上ノ沍ノ如クニシテ。朝夕ヲモ測ズ。必ズ必後ニ世繼ノ事ニ因テ。即チ爭ノ端ヲ起ス。コトヲ知ラ

ス。豈家ヲ破リ業ヲ廢テ。跡ナキニ至ラザランヤ。實子ノ爲ヲ以テ。反テ實子ノ貲財一時ニ蕩レ盡テ。留ルコトナシ。其利害得失斯ノ如ナル者ハ。何ゾヤ。是皆貪欲無智ニシテ。明ニ善惡ヲ分タス。且子孫ノ事ヲ思フニ似テ。思ハサルニ同ジ。世ノ後ヲ善スル人ノ自ラ爲ガル所ナリ。初繼子ヲ立ル時ニ。當ニ繼ベキ者ノ中ニ於テ。其善人ヲ擇ミ出シテ。是ニ業ヲ繼シメ。繼テ後子ヲ産ハ。此不幸ノ中ノ大幸ナリ。父其繼子ヲ意ヲ加ヘテ。優ケ恤ンテ。繼子モ亦幼少ノ弟ヲ撫安スヘシ。父若後由ニ爭存シテ。慮カラハ。當ニ家財家業ヲ啜ニ分テ。繼子ト。實子ト。各別處ニ置ヘ

シ冠ヤ古書ニモ養子ヲ立テ。後ニ子ヲ産ハ家業財  
寶平期此ヲ分ノ例アリ。倫惑テ道理ヲ知サル時ハ  
成シテ後大ヒナル禍アリ。必ス禮法ヲ執守テ。曲テ  
惡ニ徇フベカラス。此等ノ事。平常ニ慎ベシ

○人間ニ五倫アリ。父子親アリ。君臣義アリ。兄弟友  
アリ。夫婦別アリ。朋友信アリ。是五倫ナリ。其中ニ於テ。  
父子ノ親ミラ重トス。人ニ百ノ行ヒアリトイヘドモ。  
孝行ヲ以テ。第一トスルナリ。其故何トナレバ。蓋シ人  
ハ父母ナフシテ。此身アリ。此生アルヲ能ハス。母懷妊  
十月許多ノ苦勞アリ。盡クニ言宜カタシ。即チ親レテ  
母ノ胎内ヲ分ル、時ハ其母九、必一一生ニシテ。命ハ呼

吸ノ間ニ在テ。即チ生ル、コヲ得タリ。後ニ迫テ。其兒  
ノ笑ヲ見テハ。則喜ビ。泣ヲ見テハ。則其心ヲ察シテ。  
其欲スル所ヲ求メ。病アルヲ見テハ。之ヲ憂。寒タル  
ヲ見テハ。衣裳ヲ重シメ。飢タル色アルヲ見テハ。則飽  
シメ。行ヲ見テハ。則提ケ携サヘ。穢シキヲ遺セドモ。穢  
シトセズ。臭ニ遇テモ臭トセズ。嗜ミ好ム所ノ物アレハ。  
諸ガニ求メ與ヘテ。其子ノ喜ヒ笑シコヲ欲ス。子ヲ  
鞠シシ。顧ミ愛スル。至極ナラサル所ナシ。此所謂父  
母ノ恩深フシテ。極リ隣ナリ。人能委細ニ追テ。思揣  
トキハ。愚痴ナル田夫野人ナリトモ。滄自ラ流レテ。親  
ニ孝養ヲ盡シテ。萬が一ナリトモ。其重恩ヲ報センコ

ヲ思ハスト云フナシ。又父母ノ子ヲ教ルニハ。其子猶  
知識有ル時ニ當テ。生類ノ物。草木ニ及ブテ。安ニ  
傷ハズシテ。其仁心ヲ養シム。年長タル人。又ハ親シキ  
朋友ナドニハ。恭敬ヲ盡シ。禮儀ノ心ヲ養ハシム。然レ  
爽コトナク。安ニ言。安ニ笑スシテ。其信心ヲ養ハシ  
ム。此等ノ中ニ稱差ル事アラバ。即チ言フ正フシ色ヲ  
厲シテ。子ニ告曉スヘシ。必ズ緊ク鞭テ。其子ヲ傷ル  
フ有ルニ及ブベカラス。竊ニ讓ラク。父慈アレバ。子自ラ  
孝アリ。若父不慈ニシテ。能ク孝アル者ハ。此古ノ太舜ノ  
天ニ仰テ。號ビ泣テ。讓ラク父ノ我ヲ憐メカルハ。我  
自ラ孝ヲ盡サルニヤト。我身ヲ怨ミ玉ヘリ。此即チ大舜

ノ事ニシテ。尋常ノ人ノ能及ブ所ニアラザルナリ

第三 兄弟章

父母ヨリ下ツカタ親シキ者ハ。惟兄弟アルノ三孩提ノ  
時ハ二三歳ノ時々刻々兄弟互ニ追隨ヒ。相共ニ好シ  
戯レスト云コトナシ。兄長テ。弟幼時ハ。日ニ兄ニ掛  
ケ掛ヘラレ。懐ニ抱レスト云フナシ。長テハ兄弟共ニ  
各室アリ。或ハ妻子ノ言ニ惑ヒ。或ハ財寶繒帛ヲ交  
辨スルニ因テ。多クハ兄弟ノ間ニ隙ヲ致スアリ。或ハ家  
ノ富貴ナルヲ妬ミ。貧財ナル時ハ。互ニ慢ル心アリ。然  
レ患難相臨ニ及テハ。厚キ交リノ友アリト云トモ。終  
ニ至極志薄キ兄弟ニハ。不若。是天性骨肉ノ親ナル

ヲ以テナリ。若兄弟一處ニ居テ。興煖ヲ共ニセバ。是實ニ好トス。然凡其勢分ナルコトヲ得サル者アリ。何トナレバ。口數ノ多寡同シカラズ。人事ノ厚薄一ナラス。各親戚ノ交游アリ。各好尚ノ齊カラサルアリ。衆人ノ心ヲ一ニシ難シテ。動スレハ。水火ノ必ス尅スルカ如クナルコトアリ。各我カ志ノ如ニ行フ時ハ。事條理ナシ。怒ヤ妯娌和睦スル者少シ。米鹽ノ上ニ於テモ。極メテ口語アリ。爭ノ端ヲ致シ易シ。是ヲ見ル時ハ。別ニ炊テ居處ヲ同フスルヲ上トスルナリ。兄弟ノ間甚々不和ナルニ至リテハ。互ニ分ツニ至ル。兄ハ弟ヲ憐三。弟ハ兄ヲ敬ヒ。當ニ愈和拙ノ心ヲ加ヘシ。然スレテ。兄弟

不和ナル時ハ。必ス外ヨリ患至テ。身家共ニ保難カラシ。古語曰。兄弟居處ヲ同フシテハ。事々ニ心ニ慚ス。身ニ便ナラスト云ヘ。凡勸忍ヲ第一ニ勤ベシ。然後ニ毫末ノ争ヒアルニ因ナケン。今日我カ子弟ニ致ス行ヒテ。是ヲ子孫ニ留與シテ。後代ノ鑑トナサシム。今日ノ行迹ノ善惡末代ニ傳ヘ念ハシム。○家人離散スル。多ハ婦人ノ惡キニ由ル。婦女ノ和合セザルハ。下女ノ讒言ヲ云ニヨレリ。夫ハ婦ノ言ニ惑コトナカレ。婦人ハ下女ノ言ヲ聽入ベカラス。斯ノ如クナル時ハ。家内温和平。尤モ敦カルベシ。○家門ノ内。兄弟ノ間和睦スル時ハ。吉祥忽千聚ルベ

シ。和睦スルノ道ハ。惟レ勤忍ノ上ニアリ見テモ見サ  
ル大如ク。歸テモ聞サルカ如クナル時ハ。小ノ怨小ノ  
利ニハ。自ラ以テ。我心ヲ動スニ足ラス。

○兄弟和睦セサル時ハ。子姪相愛一ス。子姪愛一サル時  
ハ。諸ノ隨從ノ人疎ナリ。群從疎カナレバ。僮僕仇ノゴ  
トシ。斯ノ如ニシテ。若外ヨリ其家ニ患。一ヒ至ル時ハ。  
誰カ之ヲ禦コラセシヤ

○諺曰。兄弟ハ手足ノ如シ。妻子ハ衣服ノ如シ。此意ハ  
兄弟ハ同胞一體ニ係リ。痛癢モ共ニ相關ルニ因テナ  
リ。然レ凡世間ノ人多クハ妻カ諂言ヲ聞入レテ。兄弟  
ト斷絶スル者。コレアリ。假如ハ兄弟アル人。親ノ家督

ヲニツニ分テ。之ヲ受ルニ及ビ。或ハ均シカラスト云ヘ  
ル。兄弟ノ誼ヲ顧テ。相争フコアラサル。若其妻貪欲ノ  
者ナレバ。朝夕利欲ノ詞ヲ盡シテ。夫ヲ諫ルユヘ。夫終ニ  
ハ妻カ詞ヲ聞入レ。忽チ兄弟ノ誼ヲ疎ジテ。家督擽ノ  
事ニ附。公事ヲスル如キ者儘多シ。此時ニ至テハ他人  
ノ爲ニ嘲咲ハレ。親ノ名迄ヲ惹出シテ。家ノ耻ヲ取ル  
者ナリ。蓋兄弟ノ情ハ重シテ。錢財ハ限リアル者ナレバ。  
自ラ此道理ヲ精ク曉シ。妻カ詞ヲ容スシテ。兄弟睦シ  
カラシ社。第一ノ肝要ナラメ。且人ノ妻タラン者ハ。夫ノ  
兄弟ヲ親切ニ致シ。常ニ中ヨクスベキコト。專一ナリ。若  
其兄弟奸佞ナラバ。時々金言ヲ以テ。諫ヲ加ヘ。潔白

心ヲ以テ。コレニ向フベシ。彼モ亦木竹ニアラサレバ。終ニハ。其心ヲ感ジテ。奸倭ヲ改メ。一家和睦スルノ時節之アラシ。果シテ此ノ如キンバ。他人ノ爲ニ嘲笑ル。トモアラズシテ。父母アル人ハ。父母ノ悦ヲ取り。家ノ福ヒ。日ヲ指シテ至ルベシ

第四 夫婦章 婚姻同

夫婚姻ヲ取結ニハ。或ハ同役同郷ノ好ニ因テ。取結者モアリ。或ハ近隣舊親ノ好ニ因テ。取結者モアリ。既ニ約束定テ。聘禮ヲモ取替シ。婚禮ヲ取行フ迄ハ。兩家殊睦シテ。行未憑ク思ハルト云ヘ。凡ソ人ニ五七人迄ハ。婚禮取行フテ後。反テ諸事ニ付。口舌ヲ惹出シ。久シカラズシテ。離別スル者モアリ。又離別セサルト云ヘ。夫婦不和ニシテ。下生ヲ過ス者モアリ。凡ソ世間ノ人初ノ間ハ。婿丈人。媳丈母。屢參會シテ。酒ヲ酌。茶ヲ吃シ。遊山觀水ニモ。兩家ノ眷族相邀ヒ。最親シク見エケルカ。月日ノ立ニ就。漸々疎遠ニ及ビ。兩家ノ親家公。偶相逢ト云ヘ。酒面ヲ紅シ。茶唇ヲ沾ス。如キコトハ。一年ノ内ニモ稀ニアリ。且其女子。或ハ狼夫ニ嫁シ。諸事我心ニ任せサル時ハ。父母ヲ候フコトモ能ス。常ニ之ヲ悲シテ。涙ノ乾ク暇ナシ。夫婚姻ハ。人道ノ始ナレバ。互ニ相擇シ。男ハ賢女ヲ娶リ。女ハ賢夫ニ嫁シ。各兩家ノ親ニ孝ヲ盡シ。夫婦和睦シカラシ。社尤宜ナラメ。必

願禮集和角卷一



忽ニ婚姻ヲ取結ビ。後コレヲ悔ルコトアルベカラス。女子ヲ持シ人ハ。兼テ心ヲ留テ。婚ヲ擇ミ。兒子ヲ持シ人ハ常ニ聞合テ。媳ヲ擇ニ。第一ノ所要ナリ。

○父ハ子ヲ教訓セント思ヘ。其母子ノ過ヲ蔽隠シテ。父ニ告サルユヘ。父子ノ非ヲ知ラズシテ。遂ニ教訓ヲ怠リ。子ノ下生ヲ誤ル。一儘多シ。父タラン者。母カ爲ニ子ノ過ヲ蔽ヒ藏レンヤウニスベキ。一ナリ。且又繼母ハ古ヘヨリ其子ヲ惡ミ。種々諛言ヲ加フナレハ。父タラン者。繼母カ爲ニ子ノ過ヲ誣レンヤウニスベキ。一所要ナリ。天下ノ人未タ其妻ヲ正スレテ。能其子ヲ正者ハ。コレアラジ。是故ニ先其妻ヲ正シテ。後其子ヲ正ス時

ハ。教訓行ハレテ。誤ル。一アラサルナリ。

○妻賢シト云フ。外頭ノ事ヲ治シムル時ハ。必ず誤リアリ。僕聰明ナリト云フ。内證ノ事ヲ理シムル時ハ。必ず誤リアリ。一家ノ主人タラン者ハ。精ク此道理ヲ知リ。妻僕等ニハ。相應ノ事ヲナサシムヘシ。然ルトキニ。家中無事ニシテ。自ラ誤ヲ脱ル。者ナリ。

○女ヲ持シ人ハ。必ず其婚ノ人トナリヲ擇フ。第一トシ。家業ハ第二トスベシ。若眼前ノ榮華ヲ論ジテ。其婚ノ善惡ヲ察セス。或ハ驕奢淫蕩ノ徒。或ハ詩書ヲ諳ス。禮義ニ通セサル徒。二女ヲ以テ。嫁セシムル時ハ。頓テ後悔至ルナリ。夫果シテ如何ゾナレバ。驕奢

淫蕩禮義不通ノ徒ハ。妻カ苦ムヲモ憐ニス。或ハ風  
 花柳月ノ地ニ遊行シ。或ハ妻ヲ求メ。女使ヲ愛シ。其行  
 跡宜シカラサル時ハ。妻コレヲ憂ヒテ。心ヲ焦シ。形容モ  
 瘦衰ヘテ。父母ノ家ニアリシ時トハ。大ニ同ジカラス。父母  
 此光景ヲ見テ。忽後悔スト云ヘ。益ゾナシ。又遠國ニ  
 縁ヲ組人ハ。彌其婚ヲ擇ベシ。一旦女兒ヲ以テ。遠國ノ  
 人ニ嫁セシメ。再ヒ見タキ。類ナレ。厠容易見ルコト能  
 ハズシテ。父母コレヲ嘆コト萬千ナリ。或ハ誕生ノ日。或  
 ハ先祖ノ忌年ナドニ。親類盡ク相集ルト云ヘ。厠獨リ。女  
 ハ遠國ニ在テ。此日此二見エサレバ。父母心ノ中ニハ。何  
 程カ床シク思フナリ。况ンヤ其婚爲人惡クシテ。夫婦

不和ナリト聞時ハ。女ノ父母至テ悲キ。二思ナリ。女  
 モ亦遠國ニ在テ。夫ノ爲ニ逼ラレ。憂ヲ控ニスル人モ  
 ナク。適ニ故郷ノ方ヲ打望ンテ。涙ヲ流ス許リナリ。年ヲ  
 經テ。偶家ニ回リ稀ニ父母ニ逢ト云ヘ。厠又乍ニ相別  
 レ。重テノ對面未タ期セサレバ。歎シテ別ル。心地シテ。  
 互ノ想ヒ何ニ譬ンヤウゾナシ。是ヲ以テ。是ヲ見ル時ハ。  
 眼前ノ榮華杯ニ拘テ。女ヲ遠國ノ人ニ嫁セシムルハ。自  
 ラ憂ヲ求ル道理ナリ。今時ノ人ハ。專ラ女ヲ以テ。金銀  
 ニ換ル。是乃千親ノ無慈悲ニシテ。後必ス悔ル。アル者  
 ナリ。克々慎ス。バアルベカラス。

○世間ノ人。婚ヲ擇者ハ多ケレ。厠。媳ヲ擇者ハ少ナリ。

是畢竟婿ハ見易シテ。媳ハ見難キカ故ナリ。古來媳ヲ  
 求ル者。十人ニ七八人ハ。先粧奩杯ノ多少ヲ問。儼ニ  
 財寶ヲ尚ンテ。其媳ノ賢愚ヲ論セズ。是故ニ不賢ノ  
 媳ヲ求メテ。丁家ヲ亂サル者儘多シ。凡ソ粧奩杯ヲ  
 多ク持來ル媳ハ。已カ親ノ權威ニ傲リ。夫ノ親兄弟  
 フ欺キ。骨肉ノ親ヲ疎ジテ。禍ヲ惹出ス。古今少カ  
 ラス。縱ヒ粧奩ヲ持來ス。賢女ナラバ。コレヲ娶ルベ  
 シ。大丈夫タラン者。何ゾ粧奩ヲ貪テ。不賢ノ女ヲ娶ン  
 ヤ。若能ク賢女ヲ娶ルトキンバ。彼必ス貪ヲ安ジ。分ヲ  
 守リ。夫ノ親ニ孝ヲ盡シテ。丁家ノ和睦ヲ調フルユヘ。福  
 ヲナスノ基トナリ。家漸々繁昌スル者ナリ。

○嫉妬スル婦ニ兩種アリ。子有テ嫉妬スル者ハ。輕シ。  
 子無シテ嫉妬スル者ハ。重シ。其夫半百ニ及ニテ。子ナケ  
 レバ。子孫ノ絶ナシヲ憂ヒテ。妾ヲ求ント欲ス。凡妻  
 コレヲ許サヌユヘ。夫已コトヲ得ズシテ。妾ヲ外ニ求メ  
 置キ。妻カ目ヲ忍ニテ。時々通ヒ。且子ヲ生シテ後妻  
 此事ヲ知ル時ハ。大ニ之ヲ嫉テ。心ノ内ニ大惡ヲ企テ。  
 詐テ妾ニ懇情ヲ盡シテ。遂ニ本宅ニ歸レ入レ。後ニ  
 ハ其妻ヲ他人ニ配セテ。母子ノ間ヲ遠ケ。夫ノ前人ノ  
 見ル處ニテハ。其子ヲ愛スル体ニモテナシ。頓テ首尾  
 ヲ見合セテ。其子ヲ毒害シ。遂ニ子孫ヲ絶スナリ。又  
 子アル婦ノ嫉妬スルハ。吃醋甚シフシテ。耻ヲモ顧ス。身

ヲモ念レ。其妾ヲ打著シテ。襪ヲ惹出ス。夫此罪ヲ報  
テ。家ヲ敗ルニ至ルナリ。又晚妻ノ拙ハ。已ニ歎タル前妻  
ヲ嫉ミ。怒ヲ其子ニ遷シテ。繼子ヲ惡ム。夫前妻ノ忌年  
杯ニ。佛事ヲ取行ントスル時ハ。晚妻更ニ悦ス。下女等ニ  
對シテ。低言ヤウ。此家ノ前妻ハ。定メテ耻ヲモ知ラヌ。淫  
婦ニテゾアリツラン。其譏據ニハ。生出シタル悴ヲ見ヨ。  
正キ處毛頭モナシ。佛事供養モ何ノ益カアラントテ。  
色ヲ變ジテ惡口ス。夫愚ナル者ハ。妻ノ爲ニ逼ラレ。常  
ニ怖ル。故。妻彌傲リ。夫ヲ見ルコト家僕ノ如シ。夫若  
風花柳月等ノ地ニ遊ビシコト杯。妻ノ爲ニ知ラレシ時ハ。  
唯家ノ三亂ルニアラス。其妻夫ヲ害セント圖ルモ自然

ニハ之アルナリ。世ノ中ニ怖ルベキ者ハ。只嫉妬深キ女  
ノ三。若個様ノ妻ヲモチタル人ハ。預メテ簡アルベキコト  
ナリ。一旦身ヲ傷フニ至テハ。後悔ス所益チラジ  
○妻有大小子無嫡庶ト云フ有テ。此言乃千定論ナ  
リト云ヘ凡今時ハ嫡庶ノ子混雜無シテ。大小ノ妻分  
別アリ。嫡ハ妻。庶ハ妾ナリ。古ノ天子諸侯ハ。九女ヲ娶  
至ス。卿大夫ノ室ニモ正副アリ。正ハ妻ヲ云。副ハ妾ヲ云  
ナリ。士庶人ノ家ニモ一人ノ妻。數人ノ妾アリ。妾ニハ  
水ヲ汲セ。火ヲ燒セ。夫ノ父母ニモ能事ヘ兒女ヲモ能  
愛セシム。妾ノ勤ムル所。尤其勞多シ。又妾ノ内ニモ昔夫  
ト共ニ辛苦シテ。家業ヲ創立シ先ニ貧賤ヲ同シテ後

二富貴ナル者モアリ。如此ハ其功愈大ナリ。尋常ノ妾  
ト同日ニシテ。語ルベカラズ。今時ノ人ハ有子無子ヲモ  
論セズ。撫養教訓ノ勞苦アルヲモ顧ス。只妻ヲ尊テ。妾ヲ  
賤△。尤大小ノ別。嫡庶ノ分ハ正スベケレ也。何ゾ甚々賤  
メシヤ。其故如何ント問ニ妾カ生シ子。古今儘多ク立  
身シテ。高位高官ニ陞リ。國ヲ存ツ人ハ。即チ其妻ヲ國  
母ト尊ヒ。孝順ヲ盡スノ御アリ。凡ソ妾ハ夫ニ因テ榮  
母ハ子ニ因テ貴シ。是ヲ以テ。是ヲ見ルトキンバ。甚々妾  
ヲ賤ムル一。大ニ不可也。今時ノ媳ヲ見ルニ。只嫡母ノ三  
ニ拜禮ヲ行ヒ。此外ハ繼子アル庶母タリト云ヘ。敢テ  
拜禮ヲ行ハス。嫡母ハ本妻。庶母ハ妾ナリ。媳此ノ如ク

スルハ。何ユヘナレハ。或ハ嫡母ノ拘牽ニ壓レ。或ハ自家ノ  
威勢ヲ恃テナリ。一家ノ内既ニ禮節行ハサレバ。忽チ彼  
此ノ是非ヲ論シ。畢竟嫡庶ノ間。不和ニナリ。手足參商  
スルニ至ル參商ハ相見ル意ナリ。是徒ニ驕奢ノ虛名ヲ争フテ。遂ニ  
家庭ノ實譽ヲ擡ル者ナリ。驕奢ハ争也。夫惟ルニ兄弟叔嫂  
タニモ互ニ兩拜ヲ行フ。何ゾ庶母ヲ子アル拜セザラン  
ヤ。且律ニ云ク。父ノ妾。子有テ後。死スルトキンハ。諸ノ  
子都テ替服ヲ用ユル替服ハ下屬也。是乃父ヲ尊ニテ。親  
ヲ重スル所以ナリ。死後ニタモ。服制アルニ服制ハ服生  
前ニ如何ソ拜禮ナカラシヤ。世間ノ曉々タル者。此ノ  
如キ一ヲモ考ヘズ。各臆見ヲ立テ。争ヒヲナスナリ。臆見

ハ自家ノ見服制ヲ論ズル時ハ母舅ノ妻ハ舅母ト称  
 識ヲ立ル。服ナケレ。之ヲ拜セスト云フナシ。服ナキ舅母ダ  
 シテ。服ナケレ。之ヲ拜セスト云フナシ。服ナキ舅母ダ  
 ニモ如此。豈服アル庶母ヲ拜セサランヤ。夫陰陽和シテ  
 後。雨澤降り。骨肉睦シテ後。家道興ル者ナリ。然ル  
 ニ嫡庶ノ間。不睦シテ。一家亂レ。豈能家道興ンヤ。只  
 願クハ世上ノ人妻ニ教ニニハ。和順ヲ以テ貴シトシ。  
 女ヲ愛センニハ。禮義ヲ以テ。先トスベシ。吾常ニ争ヒラ  
 好ム。妻ヲ見ルニ。妾ヲ惡ンデ。嫡庶ノ間。口舌絶ズ。妻又  
 夫ノ家ニ係ル事ヲモ。辱ラ把持セント欲シテ。夫ノ主  
 張ニ聽サル者アリ。是大ニ不可ナリ。古ヨリ高位高  
 官ノ女。下ノ人ニ嫁シヌト云ヘ。都テ婦人ノ道ヲ

守リ。已カ貴ヲ以テ。夫ノ家ヲ輕メス。况ヤ士庶人  
 ノ女如何ゾ能ク其夫ニ傲テ。已カ勢ヲ振ンヤ。須  
 ク慎ベン慎ベン

○古ハ合婚ノ説ナシ。唐朝ニ至テ。呂オト云者。初メテ

此説ヲ立ヌ。合婚ト云ハ。星ヲ看テ。婚姻ノ吉凶ヲ知リ

此説立テヨリ以降。説ヲ謬テ。人ヲ嚚ク徒多シ。今特

ノ人ハ殊。星家合婚ノ説ニ惑ヒ。星家ハ。星ヲ動レ

バ。星ノ善惡ヲ論シ。惜哉。宜キ婚姻ヲ調ヘズシテ。偏

ニ星家ノ説ヲ信ジ。其星告ニ合ストアル時ハ。婚姻

ノ事ヲ云定テ。聘禮ヲ送ル。又男女二十ノ時ハ。婚ニ

當スト云説有テ。人皆コレヲ信ズ。是乃千古ノ禮ヲ

知ラサル故ナリ。古語ニ男子三十二ニシテ嫁リ。女子  
 二十ニシテ嫁スト云コトアリ。豈反テ唐朝ノ説ヲ信  
 シテ。禮典ノ制ヲ察セザランヤ。況ヤ古ノ人專ラ婚ヲ攬  
 シカニ。未ダ合婚ノ説アルヲ聞ズ。只彼八卦ノ三ヲ用  
 テ。男女ノ善惡吉凶ヲ考。凡ソ男ハ女ノ貞烈ヲ擇ミ。女  
 ハ男ノ行跡ヲ擇ミ。門戸相當リ。年齒相等ヲ以テ。合  
 婚ノ宜トシ。吉日良辰ヲ擇取テ婚禮ヲ取行ス。何ゾ  
 必ズシモ俗説ニ從テ。自ラ婚姻ノ大事ヲ誤ンヤ  
 ○夫婦ノ配合ハ。人倫ノ大事ナリ。當世ノ人。新娘新郎  
 祇テ雲雨ヲ行時血アルヲ全璧ト云。血ナキヲ瑕ニ疵  
 アリト云ス。夫血アルヲ喜。血ナキヲ疑ス。是畢竟事ヲ

精ノ曉サルユヘナリ。女ニ因テ。血アルモアリ。又血ナキ  
 モアリ。或ハ年々ケタル女。或ハ多ク酸醜ノ味ヲ食シ  
 タル女ハ。必ス其血ヲ失フ。此外ニモ種々ノ事アリテ。  
 血ヲ失フト云ヘ。此書ニハ盡ク記サズ。今時ノ人新  
 婦ノ賢德ハ論セズシテ。徒ニ渺茫ノ荒言ヲ信ジ。血  
 ナキヲ云出シテ。耻ヲ内外ニ播。恨ミヲ閨闈ニ積  
 ム。其新婦若貞烈ナレバ。夫後ニ疑釋ケ。急ニ前吾  
 ヲ滅セント欲スレ。男子ノ云出セシト言ハ。驛馬モ  
 追カタクシテ。重テ滅スルヲ能ハズ。賢女ヲシテ。恨ヲ  
 懷セ。羞ヲ含セ。終身白カラズ。子孫ニ至テモ。其穢  
 名ヲ改ルヲ能ス。豈之ヲ悔サランヤ。夫此事ヲ疑

テ。妻ト睦シカラサル者。極メテ多シ。是莫大ノ過ナ  
リ。明理ノ達人ハ。自ラ此道理ヲ察シテ。賢婦清名  
ヲ珍コトナカレ

○人ノ婚配ハ。婚配ハ六禮ヲ備テ。以テ好速ヲ遂ルナ  
リ。一夫一妻ニシテ。偕ニ老ル者ヲ嘉偶トス。嘉偶ハヨ  
云。此ノ如キハ稀ナリ。今時ノ人ハ。擅ニ妾ヲ求者モ  
アリ。客途客館ニ於テ。副室ヲ娶テ。副室ハ。寂寥シ  
伴シムル者モアリ。是等ハ皆父母ノ命ニ由ス。且彼婦  
家ノ富貴ヲ擇テ婚姻ヲ取結徒ト異ナラサル者其  
ナリ。孰惟ルニ婦人ハ夫ノ貧富ニ隨フ者ナレバ。強ニ婦  
人ノ貴賤ヲ擇ベカラズ。其妻若貧賤ナレバ。只彼姑嫂

姉姪ノ輩。親戚眷族ノ間ニ在テ。妻カ出生ノ賤微ナ  
ルヲ譏。甚タ輕シムルユヘ。忽千怨三起テ。仇ヲ報ゼン  
ト欲ス。是乃千婦女ノ見識ノ拙キ所ナレバ。舉テ論ス  
ルニ足ズト云ヘ。其夫常ニ戒ヲナサズシテ。妻カ出生  
ヲ眷属等カ前ニテ。評スルユヘ。是非口舌立處ニ生シ争  
ヲ骨肉一致ス。妻カ家ノ貧賤ヲ譏ル。大ニ不可ナリ。  
假如バ螢火ハ腐艸ニ發輝シ。花香ハ濁穢ニ醞釀スルカ  
如シ。原潔ハ汚タルヨリ出。明ナルハ晦ヨリ生ス。生物ノ  
理都テ此ノ如シ。殊ニ婦人ノ榮辱ハ。夫ニ從フ。古今貧賤  
ヨリ出テ。天子ノ貴妃諸侯ノ夫人ニナル者儘多シ。况ヤ士  
庶人ノ上ニテ。何ゾ太々婦人ノ貧賤ヲ論セシヤ

頁書集和角卷一



○夫婦有テ然後ニ父子アリ。父子有テ然後ニ兄弟アリ。兄弟有テ然後ニ朋友アリ。朋友有テ。然後ニ君臣アリ。故ニ曰。君子ノ道ハ。夫婦ニ始ル。所以ニ關雎ヲ風代ノ本トシテ。詩ニ百篇ノ首ニ列ルナリ。夫婦ノ道ト云ハ。夫ニ在テハ。和シテ禮有テ。狎ニ淪ス。樂テ淫セスシテ。邪ニ流ス。婦ニ在テハ。柔ニシテ。體有テ媚ニ近ス。順ニシテ。能敬フテ。誼ニ至ラス。果シテ此ノ如キ時ハ。琴瑟ノ歡ニ調リテ。夫婦ノ間睦シクナリ。家道自ラ昌ルナリ。亦婚姻ノ初ハ。男ハ婦ヲ擇ミ。女ハ婿ヲ擇ミ。男女互ニ頼有テ。永ク和センコトヲ圖ルベシ。必ス事ヲ下時ニ定テ。後悔ルコトナカレ。夫妾ヲ養ガ如キハ。世間ニ養者恒ニ多

シ。只安ニスル者甚少シ。是賢徳ノ妻少シテ。嫉妬ノ妻多キ故。是非口舌絶ズシテ。安ンスルコト能カルナリ。夫四十ニシテ子ナキ時ハ。妾ヲ求ルコト律ノ例ニ明ナリ。然レモ賢徳ノ妻ニ子アル上ハ。妾ヲ求ルコト不可ナリ。若嫉妬ノ妻ヲ持シ者。四十ニシテ。子ナクンバ。類妻カ父母兄弟ニ告律ノ例ニ依テ。妾ヲ娶ルベシ。妻尚憤リテ。阻ント致サバ。速ニ官府ニ訴テ。去バ可ナリ。何ソ只顧憐憫ヲ垂テ。自ラ子ナキ咎ニ罹ンヤ

增補廣類願體俚諺鈔卷一終

管前黃謙願對出落檢卷一

凡此類書皆係...  
 又此類書皆係...  
 且余之書皆係...  
 四十二...  
 多矣...  
 心口...



